

# HIVI

ハイヴィー AUDIO VISUAL MAGAZINE 2015

10



30機種の厳密採点付き  
クオリティ志向で選ぶカナル型イヤフォン  
NETFLIX日本上陸!  
4K映画が家庭にやってくる

## 秋の新製品 第一陣

ソニー4Kプロジェクター VPL-VW515  
デノン、マランツ、パイオニア、ヤマハ  
DTS:X対応 AVセンター続々登場



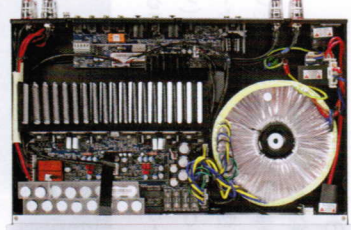
## INTEGRATED AMPLIFIER

CREEK Audio  
EVOLUTION 100A

¥370,000+税 (9月21日発売予定)

- 出力110W×2ch (8Ω、2ch駆動、1%THD) ●周波数特性: 10Hz ~ 100kHz
- 接続端子: アナログ音声入力5系統 (RCA) 他 ●消費電力: 最大500W
- 寸法/質量: W430×H60×D280mm/9kg
- 問合せ先: ハイ・ファイ・ジャパン ☎03 (3288) 5231

→前モデルEVOLUTION50と同じ筐体(高さ60mm)の中に、大型トイダルトランスを詰め込み、電源部を強化したのがポイントとなる。写真からその密度感が分かるだろう



「ローコスト・ハイパフォーマンス」の製品づくりをコンセプトにする英国クリークオーディオから、新たなプリメインアンプEVOLUTION100Aが届けられた。現行モデルEVOLUTION50Aの上位モデルとして企画されたコンベンショナルな製品で、基本的にはアナログ音声入力のみ2chアンプだ。50Aとまったく同じ筐体サイズだが、360W(50Aは200W)というより大容量のトイダルコアトランスを搭載し、電源部を強化したことが

大きな違い。パワー部、デジタル回路に別の巻線を用意し、相互の干渉をおさえる工夫は50Aと同様だ。さらに、本機に最適化したG級増幅方式を採用したことも大きな特徴だ。AB級増幅回路を基本に、オーディオ入力信号の振幅レベルに合わせて電圧のレベルを切り替えるという方式で、本機では25W(8Ω)を境に高電圧モードに切り替わる仕組み。こうして根本の電源供給力を高め、電力効率も高めることで、高さ60mmという薄型の筐体のまま、さらなる高出力、低歪みを実現したという。

また、本体操作により、入力の1系統について、プリアンプ部をバイパスするパワーアンプダイレクト入力に設定も可能。AVセンターのプリアウトと連携してマルチチャンネルシステムにも組み込みやすい。

特に同社のCDプレーヤーEVOLUTION50A、ならびに今後登場予定の本EVOLUTION100Aとの組合せにおいては、このパワーアンプダイレクト入力と接続し、CDプレーヤー側のデジタル領域でポリリウム調整を行なうことで、さらに低ノイズでの伝送が期待できるという。

なお、リアパネルには追加モジュール用の空きスロットが設けられており、機能拡張も可能。96kHz/24ビットまでの信号に対応するUSB入力を備えたRUBY DAC(9万7000円+税)、AM/FMチューナーのAMBITTUNER(2万9000円+税)が別売に

## 電源部を強化して高出力を実現 パワーアンプダイレクト入力にも対応



て用意されている。フォノイコライザーの機能追加については基板にフォノカードを組み込む方式。MM対応のSequencer(40dB:2万8000円+税/48dB:3万5000円+税)とMC対応のSequencer(54dB:3万5000円+税)を用意する。

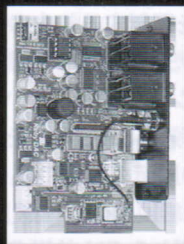
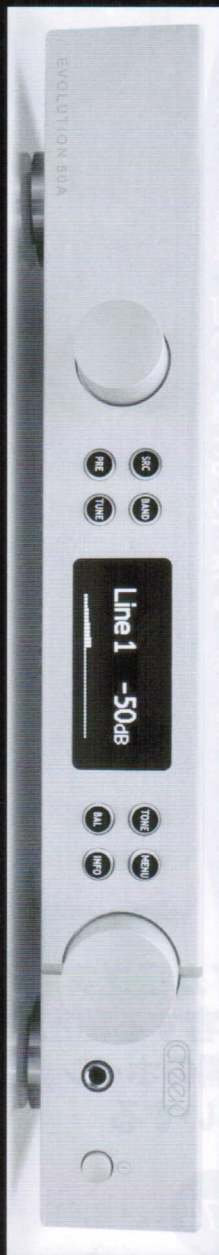
(編集部)



# CREEK

EVOLUTION 50A + RUBY DAC ¥284,000/特別

4系統のデジタル機器との接続用として、光、同軸、USB、Bluetooth入力を装備し、さらにFM RDSに対応した、チューナーも搭載したモデル  
 ■出力: 50W/8Ω、2ch、80W/4Ω/2ch(2700dB) ■入力感度: 410mV ■FM入力: 1 x RCA ■FM一部入力: 1 x RCA or 1 x XLR 選択 ■クロスターク: -80dB、11Hz ■S/N: >102dB ■寸法: W430 x D280 x H60mm ■重量: 7.5kg  
 ■デジタル入力: 2 x 光 / Toslink 24bit、192kHz、1 x USB / Class1 24bit、96kHz、1 x Bluetooth DAC、Wolfson WM8742 24bit、192kHz、FMチューナー: 周波数/76 - 108 MHz (バンド既定)

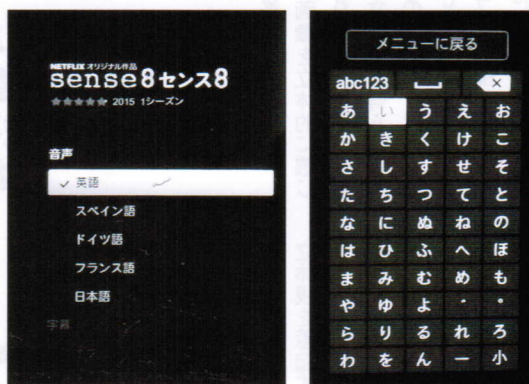
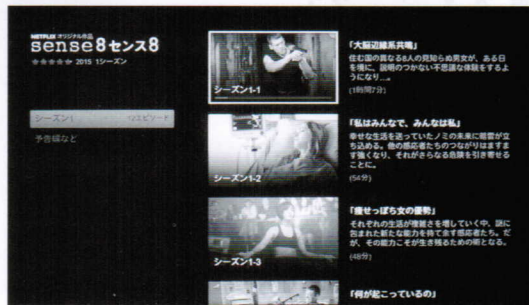


hifijapan.co.jp / 03-3288-5231

## ●NETFLIXのプランは？

NETFLIXの料金プランには下記の3種類がある(プランによって、同時に見られる番組数が異なる)。ベーシックは、主にスマートフォンやタブレットなどを想定したもので、配信されるコンテンツの解像度はSD。推奨される回線速度は0.5Mbpsだ。スタンダードは720p以上のHDコンテンツが楽しめる、推奨回線速度は5Mbps以上となっている。プレミアムは4Kを含め、フルHD以上の解像度の作品が楽しめるが、実行速度は25Mbps以上が求められており、光などの高速な回線が必要になるだろう。なお、どのプランも1ヵ月間無料のお試しサービスが実施されているので、まずはどんなコンテンツが見られるのか、チェックしてみてもいいだろう。

ベーシック ¥650+税/月  
 スタンダード ¥950+税/月 同時ストリーム数2  
 プレミアム ¥1,450+税/月 同時ストリーム数4  
 ●URL : <https://www.netflix.com/jp/>



↑NETFLIXの画面は、縦軸にジャンル、横軸にコンテンツが並ぶようになり、テレビで見るYouTubeに近い感覚だ。反応はサクサクと小気味よく動き、ストレスはない。ジャンルも「怖い映画」、「ドラマ」、「ドキュメンタリー」、「アニメ」、などマニアックなものが用意されている。今回短い時間の視聴であったが、UHD 4Kコンテンツを主に再生していたところ、急速「UHD 4K」というジャンルが表示されるなど、リアルタイムでユーザー画面の最適化が行なわれている様子が垣間見えた。なお、コンテンツ名の横には、「HD」「UHD 4K」など、解像度を示すアイコンが表示されていた。音声切替は、再生しながらでもストレスなく行なえ、早送り、早戻しについても、ストリーミング中の映像とは思えないほど自由に操作できた

鮮やかな色を堪能できる作品も多かった。画質に関してはソースの質の問題もあるようで、今後改善されていくと思われる。

特筆したいのは、いろいろなタイトル

を探しては視聴を繰り返すうちに、視聴履歴に応じたおすすめ作品の内容が頻繁に更新されたこと。レコメンド機能がさらに強化されていけば見たいタイトルがより探しやすいだろう。

画質や新作の映画タイトルの充実など、今後に期待したい部分もあるが、約1500円で4K作品を含むさまざまな映像作品が見放題というのは魅力がある。特に海外ドラマはパッケージで

揃えると価格もそれなりにかかるので、お得感は大い。操作感の快適さも含め、注目度の高いサービスと言える。登録後1ヵ月は無料で使用できるので、ぜひとも試してみよう。



## デノンからネットワークレシーバーが登場 192kHz/24ビット/PCM、5.6MHz/DSDが再生可能

NETWORK PLAYER+INTEGRATED AMPLIFIER  
**DENON DRA-100**

- ¥110,000+税 10月中旬発売
- 定格出力: 35W×2 (8Ω)、70W×2 (4Ω)
- 消費電力: 60W (待機時0.3W)
- 接続端子: アナログ音声入力2系統 (RCA)、アナログ音声出力1系統 (RCA)、デジタル音声入力3系統 (同軸×1、光×2)、サブウーファー用プリアウト1系統、LAN1系統、他
- 寸法/質量: W280×H104×D337mm/4.8kg
- 問合せ先: デノン・マランツ・D&Mインポートオーディオ お客様相談センター ☎0570 (666) 112



デノンより、ネットワークオーディオプレーヤー内蔵プリメインアンプDRA-100が10月中旬に発売される。

本機と同じシリーズで、アンプに英CSR社のDDFA回路を搭載するプリメインアンプPMA-50はUSB DACを内蔵していたが、DRA-100はそのネットワークプレーヤー版と言える。

DLNA1.5準拠のネットワークオーディオ機能は、PCMは最大192kHz/24ビットまで、DSDは5.6MHzまで

のハイレゾファイル再生に対応する。DSD、WAV、FLAC、AIFF、ALACなど幅広い形式のファイルにおいて、ギャップレス再生もできる。フロントパネルのUSBタイプA端子ではUSBメモリー内のハイレゾ音源も再生でき、その場合の対応ファイル形式はネットワーク時と同じだ。

本体デザインはPMA-50と同様に、上下にアルミニウムパネルを用いているが、厚さを3mmから5mmに増や

し、外部からの振動による音質への影響を抑制したという。定格出力はPMA-50から40%アップした70W×2 (4Ω) と、ハイパワーを実現した。

デジタル処理回路には、同社独自の技術「Advanced AL32 Processing」を採用。音楽信号の32ビットへのビット拡張、ならびにアップサンプリングを施して高品位再生を目指した。

### 強力な電源と高剛性筐体を誇る エソテリックの新セパレートアンプ

エソテリックから新型セパレートアンプ、C-03Xs+S-03がデビュー。C-03Xs (写真) は電源部から左右チャンネルの回路を独立させたデュアルモノーラル&フルバランス設計が施されたアナログプリ。S-03は500W×2の出力を誇るステレオパワーアンプだ。両者とも強力な電源部と高剛性筐体の採用が大きな特徴だ。価格はC-03Xsが¥800,000+税、S-03が¥900,000+税



● 問合せ先: エソテリック (株) AVお客様相談室 ☎0570 (000) 701

### アコースティックアーツから POWER ESの後継機が登場

アコースティックアーツより、プリメインアンプPOWER ES-MK2が発



売される。本機は既発のPOWER ESの後継機で、バランス入力2系統 (XLR)、ヘッドフォン出力1系統、プリアウト1系統 (RCA) が新たに追加された。定格出力、トランジスター、電源トランスなど、その他の仕様は前モデルと同様。9月21日発売で価格は¥670,000+税

● 問合せ先: (株) ハイ・ファイ・ジャパン ☎03 (3288) 5231

### 31cmの距離から 100インチの 投写が可能 3D対応の超短焦点 DLPプロジェクター



オプトマが、超短焦点DLPプロジェクター EH320USTを発売した。0.65型DC3のDMDパネルを採用し、本体内部の鏡に映像を反射させて超短焦点を実現したモデルだ。解像度は1,920×1,080画素。輝度は4,000ルーメン、コントラスト比は20,000:1となる。投写距離は100インチで31cmと驚異的に短い。3D表示にも対応し、DLP Link方式とVESA 3D方式に対応している。HDMI入力2系統を備え、ブルーレイ3Dの表示も可能。実勢価格は21万円前後

● 問合せ先: (株) オーエスプラスeコンタクトセンター ☎0120-212-750

### 設置スタイルで選べるサブウーファー内蔵の 薄型サウンドバー YSP-1600、SRT-1500



ヤマハが、音を壁に反射させ5.1chサラウンドを再現するビームスピーカーとサブウーファーを搭載したサウンドバー YSP-1600と台座形状のSRT-1500 (写真) を発売した。両機種ともに基本的な機能は同じで、新機能のスマートフォンなどで操作できる専用アプリ「MusicCast」に対応し、HDMI端子を装備、4K/60p/ HDCP2.2映像のパススルーが可能だ。実勢価格は両モデルともに6万円前後

● 問合せ先: (株) ヤマハミュージックジャパン お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口 ☎0570 (011) 808